

Kuma Publishing 新刊書籍のご案内

壮大な芸術拠点「江之浦測候所」
—エッセイと豊かなビジュアルで綴る

杉本博司 江之浦測候所

現代美術作家・杉本博司が20年以上構想し、2017年に開館した「小田原文化財団 江之浦測候所」。

本施設は、杉本が設立した小田原文化財団の拠点として、古今の日本の文化を融合し、時代を超越する芸術と建築の複合施設として誕生しました。

相模湾を見渡す丘陵地に佇む江之浦測候所は、日本から世界へ向けて芸術と文化を発信し、人類とアートの原点へ立ち戻る場として設計されています。施設内には、全長100メートルのギャラリー、野外の石舞台や光学硝子舞台、再現された16世紀の茶室、移築された室町時代の明月門などが点在し、訪れる人々に壮大な眺望と時間を越えた体験を提供します。

このたび刊行された『杉本博司 江之浦測候所』（英語版：Enoura Observatory : Land of Distant Memories）は、ここでの多岐にわたるプロジェクトの軌跡を記録した一冊です。四季折々、そして刻々と移ろう光と影を捉えた写真の数々は、杉本の創作活動の集大成ともいえる総合芸術作品に秘められた創造のビジョンを鮮やかに映し出します。



2025年11月中旬発売
B5判変形／ハードカバー
224ページ
本体8000円＋税10%

杉本博司

1947年東京生まれ。74年よりNY在住。活動分野は、写真、彫刻、インスタレーション、演劇、建築、造園、執筆、料理と多岐にわたる。2008年建築設計事務所「新素材研究所」、09年公益財団法人小田原文化財団を設立。日本の伝統芸能振興に努め、国内を始めパリオペラ座、ニューヨーク・グッゲンハイム美術館、ニューヨーク・リンカーンセンター、マドリッド・エスパニョール劇場など世界各地で公演を手掛ける。主な著書に『アートの起源』『江之浦奇譚』『杉本博司自伝 影老日記』など。1988年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞（絵画部門）受賞。2010年秋の紫綬褒章受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ 叙勲、2017年文化功労者、2023年日本芸術院会員に選出。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
tel: 03-6715-6121 tsubamebook.com

貴店印	新刊 くま書店／Kuma Publishing		080-3093-0458 info@kumashoten.com
	注文数	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人	
		杉本博司 江之浦測候所	
冊		ISBN978-4-9912756-9-2 C0070 本体8000円＋税10%	